

# は～とねっと

札幌白石記念病院と患者さん&地域の方々とのコミュニケーション誌

ご自由にお持ちください



特集

## 認知症

脳神経外科  
稲村茂トクターに聞く



札幌白石記念病院  
スタッフボイス

ひとこと

院長から年始のご挨拶



入院患者さんをしっかりサポート

## 入退院支援センターの紹介

# 認知症



## 認知症に関して

— 認知症の患者さんを診察するようになったのはいつからですか？

**稲村医師**：10年くらい前です。釧路市の市立病院で働いていた時ですが、高齢化社会と言われて認知症がよく知られるようになった頃だったと思います。ただ、患者さんはどこで診てもらっているかわからず、脳神経外科に来られる方が多かったです。

— 認知症の患者さんはご自身で気づいて来られるのですか？ それともご家族に連れられて来る方が多いのですか？

**稲村医師**：個人的な感覚だと半々です。『最近もの忘れが多くて心配』と言って来られる方と、『もの忘れがひどくて大変なんです』と家族が連れて来られる方だいたい半分ずつです。あと、かかりつけ医やケアマネジャーが言動の変化にお気づきになって受診する方も一定数いらっしゃいます。

— ご本人であれ、ご家族であれ、『もの忘れ』が認知症を疑う最初のポイントですね

**稲村医師**：そうですね。皆さん『もの忘れ』があること、『認知症じゃないかしら』となって受診されます。

— 診断はすぐにできますか？

**稲村医師**：確定診断はまた別になります。診察室に連れて少し話してみると、認知症がありそうかどうか、というはある程度分かります。それは、認知症の患者さんにはいくつか特徴的な現象が



### 自己紹介

札幌白石記念病院、脳神経外科医師の稲村茂です。主に脳の血管障害や脳腫瘍といった脳神経外科領域の病気を診ていますが、最近認知症の患者さんも数多く見えています。

— 医者になったきっかけを教えてください  
**稲村医師**：元々、野生動物や昆虫などに興味があり、そちらの大学に行くことを目指していたんですが、国内では非常に狭き門で、浪人をしました。

あるからです。代表的なもので言えば、『取りつくり現象』と『振り返り現象』です。

## 『取りつくり現象』と『振り返り現象』

— それらはどういった現象ですか？

**稲村医師**：まず取りつくり現象というのは簡単に言うと何かの理由をつけて、『だから大丈夫』というような答えをする現象です。

例えば『これはできないんですか？』と聞くと『年だからできないんです』とか『学校行ってないからできないんです』という感じですね。

自分が認知症だということを認めないんですね。あと、振り返り現象というのは、お隣に座っている方に自分のことを確認しながら答えるという現象です。

例えば『昨日はごはんを食べましたか？』と聞くと『わたし、食べたよね？』というように、お隣に座っているご家族に同意を求める現象です。

— ご高齢の両親とお話をしていて、取りつくり現象や振り返り現象のようなことがあれば、認知症の疑いがあると考えられるんですね

**稲村医師**：これらはご家族の方が認知症かもしれないと感じる情報の一つかも知れません。

## 認知症の予防法

— 認知症の予防法はあるのでしょうか？

**稲村医師**：残念ながら明確な予防法はありません。ただ、最近いくつか言われ始めたものがあります。

その時、医学生のことこに『人間も同じ動物だよ』と言われ『なるほど』とあって、『医師を目指すようになったら』。

— 実際に医師になられていかがですか

**稲村医師**：普通に生活しては分からない体の仕組みや機能が分かって面白いです。

— 脳神経外科の道に進んだきっかけは

**稲村医師**：大学を卒業する間に決めました。ある程度、全身を診られる科に行きたかったのと、手足を動かしながらやっている方が自分の性格に合っていると思いました。あと、脳は知られていない部分も多く面白さを感じました。

— 例えば、脳トレとかですか？

**稲村医師**：患者さんもよくおっしゃるんですが、脳トレはまだ科学的には証明されておりません。科学的な根拠があるというもので言えば、人との交流です。

人とふれあうことで脳が刺激され、認知症を予防できると言われてます。あとは、散歩など簡単な運動も認知症の予防にはいいとされています。

— 新型コロナで外出自粛や、人との交流もなかなかできなくなっています。

— 今のような状況は認知症にはよくない状況なのではないでしょうか？

**稲村医師**：その通りです。このステイホーム期間中に、認知症の症状がさらに進んだ患者さんが非常に多いと感じています。かと言って、ウイルスに感染すると高齢者の場合は重症化するとされていますので、難しいところです。

— 新しい生活様式ということも言われていますが、病気の予防にもいろいろ工夫をする必要がありますね。

最後に認知症の予防に関してアドバイスをお願いします。

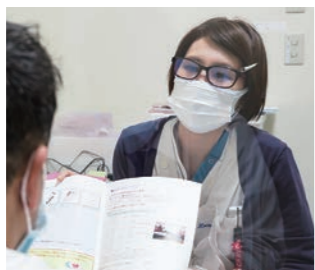
**稲村医師**：認知症の専門医の立場で言えば、孤立をしないことが大切だと考えます。やはり一人だけで誰とも交流しない毎日認知症にはよくありません。

自ら積極的に誰かと交流するようにしてほしいですし、ご家族もできるだけ孤立しない環境になるようにサポートしてほしいと思います。ただ、もの忘れでも、認知症から来ているものもあれば、認知症以外の病気から来ているものもあります。最近、もの忘れが気になるという方は、一度相談されてみるのもよいと思います。

入院患者さんをしっかりサポート

## 入退院支援センターの紹介

2020年4月より入退院支援の充実を目指し、『入退院支援センター』を開設いたしました。



入院が決定された患者さんと面談を行い、入院生活、検査・手術について説明を行っております。

面談時に患者さんの情報収集をさせていただき、患者さんやご家族の方から入院前に不安などを伺うことにより、介入の必要な患者さんの把握を行い、病棟での対応、予測される問題を抽出し、入院病棟や栄養士、退院支援チームとの連携を強化し、早期介入に向けて務めております。

また、入院前検査による医療の安全性を担保するため、入院前検査の確認を行い、並行して薬剤師による薬剤指導を行うことで検査・手術をスムーズに行えるよう連携しております。

様々な疾患で入院される患者さんが安心して入院生活を過ごしていただくために、患者さんからの相談に対し迅速かつ的確に対応できるように整え、患者さんの気持ちに寄り添い、患者さんが安心して当院の医療・ケアを受けていただけるように活動していきたいと思っております。

入退院支援センター  
専従看護師 武市 悠

## 札幌白石記念病院 スタッフボイス



放射線技術室 室長  
いりい りょうすけ  
入井 亮介

放射線技術室では様々な脳・心臓疾患の発見に必要な検査を行っており、私たちは日々、検査技術の向上や知識の習得などに努めています。

一概に検査といっても様々な種類があり、不安をお持ちの方も多くいらっしゃると思いますので、気兼ねなくお尋ねください。

新年を迎えるにあたり、  
ご挨拶申し上げます。



院長  
宮田 節也

当院は、「頭から足の先までの動脈硬化性病変」や「不整脈」を主な治療対象としており、皆様もご存じの、脳卒中・狭心症・弁膜症・心不全・下肢動脈閉塞・心房細動の治療や人工透析に加え、急性期リハビリテーションにも注力しています。

最近、人生100年時代と言われてはいますが、患者さんの高齢化で抱える病気は、1つだけではなく、複数の病気を同時に抱えている場合が多くなっています。そこで当院は、脳神経外科・循環器内科・心臓血管外科・呼吸器内科・透析センターが一緒になり、全ての科を結集して、患者さんの治療を行うため、毎朝、「ブレイン・ハートカンファレンス (Brain・Heart Conference)」を行い、各診療科の連携を図っております。

また、当院は社会医療法人であるため、へき地である医療資源の少ない地域への応援も行ってまいります。

今、世の中はコロナ禍の大変厳しい苦境の中にありますが、私たちは、当院の理念である「いのちと向き合う、こころと向き合う」を、職員1人ひとりが、自問自答しながら成長しつづけ、いかなる苦境にもひるまず、皆様に納得いただける医療を追求し続けて参りたいと思います。令和3年も何卒よろしくお願いたします。



## 外来医予定表

【2021年1月より】 ※都合により、担当医師は変更になる場合がございます。

\* 出張医師

診療科		月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	野中	大坊	本田	本田	大坊	当番医
		恩田	野中	野村	佐々木*	稲村	
		岡*					
	午後	野村	大坊	野村	本田	野中	
		稲村(もの忘れ外来)	本田	恩田	佐々木*	稲村(もの忘れ外来)	
		岡*	相馬			相馬	
脳神経内科	午前		高橋				
	午後				高橋		
循環器内科	午前	宮田	宮本(不整脈外来)	大村	宮本(不整脈外来)	宮田	当番医
	午後	宮田	宮本	大村	徳野	大村	
心臓血管外科	午前				大野(1,3週)	角野	
	午後		角野(2,4)	角野(1,3)			
腎臓内科 (10:00~11:30)	午前	鈴木				鈴木	
呼吸器内科	午前	小野江	小野江	小野江		小野江	

### 診療時間

平日：午前／9時～12時(受付：8時40分～11時30分) 午後／13時～17時(受付：11時30分～16時30分)  
土曜日：午前／9時～12時(受付：8時40分～11時30分)

### 電話受付時間

※ご予約の受付はお電話でも可能です。平日のみ。土日祝除く。  
午前：9:00～11:30 午後：13:00～17:00 TEL：011-863-5151



社会医療法人 医翔会

# 札幌白石記念病院

〒003-0026 札幌市白石区本通8丁目南1-10

診療科目/脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・心臓血管外科・呼吸器内科  
腎臓内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

ご予約の受付はお電話でも可能です。

☎ 011-863-5151 (代表) FAX: 011-863-5161

